

## インフルエンザに関する朝日新聞記事の内容および情報源の調査

種岡 諒介

インフルエンザに関する情報の入手先として新聞が最も多いことが報告されている。第一面の記事の特徴が調査されているが、これらは、政治経済に関する記事が多く、情報源に偏りがあると考えられる。新聞記事の内容とその情報源との関係を明らかにするためには、第一面から社会面まで掲載される可能性のある記事を対象として調査する必要がある。

本研究では、インフルエンザに関する朝日新聞記事の内容と情報源を調査し、記事の執筆に使用されている情報源の種類と記載における課題を明らかにすることを目的とする。

本研究では、聞蔵Ⅱビジュアルを使用して記事を収集し、段落ごとに分けて、内容と情報源を調査した。内容は、主題語と限定語を用いて調査した。調査に使用する主題語は、「疾病」「ウイルス」「ワクチン」「治療薬」に関して作成した。限定語は、医学用語シソーラスと **Medical Subject Headings** に基づき作成した。情報源は、「個人・組織」が、どのような「方法・形態」で情報の発表・発言等を行ったか、という2つの観点に分けて調査した。

記事内容を調査した結果、「疾病」「ウイルス」「ワクチン」「治療薬」の主題語において、それぞれ「疫学」「遺伝学」「経済学」「薬物投与と投与量」の限定語により表される記事が多いことがわかった。情報源を調査した結果、「方法・形態」に着目すると、「論文」「会議」「調査」「発言」「不明」により表される記事が多く、「論文」を情報源とする記事には、論文の著者名や雑誌名などの書誌事項が具体的に示されている記事と示されていない記事があることがわかった。「会議」「調査」「発言」を情報源とする記事には、「論文」のように根拠が示されていない。また、「個人・組織」のうち「個人」に着目すると、「大学に所属する教員」「研究機関に所属する研究者」が多く、「発言」「論文」を情報源とする記事が多いことがわかった。「組織」に着目すると、「自治体」「厚生労働省」「政府・行政機関」「研究機関」「農林水産省」「企業」により表される記事が多く、「自治体」「企業」では、「発言」を情報源とする記事が多く、「厚生労働省」「政府・行政機関」では、「会議」を情報源とする記事が多く、「研究機関」「農林水産省」では、「調査」を情報源とする記事が多いことがわかった。

インフルエンザに関する新聞記事の内容と情報源を調査した結果、情報源の詳細を明記した記事、情報源の概略のみを示した記事、情報源の記載が不十分な記事がみとめられた。読者による記事の根拠の確認および詳細な情報の入手を容易にするためには、記事中に情報源を明記する必要があるが、印刷版の記事の場合、紙面に制約があると推察される。しかし、記事が何らかの情報源に基づく場合は、印刷版の記事中に「情報源あり。詳細は電子版をみよ」のみ記述しておけば、読者は電子版の同一記事にアクセスし、実際に情報源の詳細を入手することができると考えられる。

(指導教員 岩澤まり子)